

特集

住んでいると 健幸になれるまちへ



乞田・貝取ふれあい館
どんど焼き (2019年)



ゆう桜ヶ丘夏まつり
(2018年)



からきだ菖蒲館まつり
(2018年)

【特集】住んでいると健幸になれるまちへ

目次

健幸まちづくりは公共施設見直しのキーワード！、公共施設の機能転換・再配置の取り組み... 2～3ページ	2～3ページ
誰もが気軽に集えるスポット！.....	4～5ページ
市民ワークショップに参加して健幸まちづくり！、お知らせ.....	6～7ページ
健幸都市宣言をご存知ですか？、阿部市長の健幸宣言！.....	8ページ

住んでいると健幸になれるまち・多摩をめざして



多摩市では「公共施設の見直し方針と行動プログラム」を策定し、公共施設の見直しに取り組んでいます。今後、公共施設政策は社会状況の変化や時代のニーズを踏まえ、賢く方向転換を図っていく必要があります。「機能転換」は、その重要な方策です。多摩市では公共施設を大事に使い続けるために、様々な取り組みを行っています。

また、**健幸まちづくり**とは、市民の皆さんの誰もが健康で幸せに過ごせるまちを目指して、健康と幸せを獲得しやすい環境を整えていく取り組みです。

今号は、「健幸まちづくり」の視点を取り入れた公共施設の機能転換や、市民ワークショップの取り組みなどをご紹介します。市民の皆さんと一緒に、これからのまちづくりを考えていきたいと思っております。

多摩市長 阿部 裕行



健幸マーク

特集 住んでいると**健幸**になれるまちへ ～健幸まちづくりは公共施設見直しのキーワード！～

多摩市では、公共施設のあり方と今後の方向性を示す「公共施設の見直し方針と行動プログラム」を策定し、公共施設の見直しに取り組んでいます。

公共施設の見直しで重要な目的の一つが「**機能転換**」。大事なキーワードの一つが、市民の皆さんが健康で幸せに過ごせるまちの実現に向けた取り組み「**健幸まちづくり**」です。

皆さんの身近な拠点である公共施設は、「楽しい！面白い！やってみたい！」のきっかけとなる場所でもあり、また、一人ひとりの健幸を支える場所でもあります。公共施設は、今後、時代のニーズに合わせた機能や使い方に転換していくことが求められています。

今号は、「**健幸まちづくり**」の視点から見た公共施設の見直し・機能転換等の取り組みを特集します！

公共施設の見直し「3つの目的」



健幸の
カギ

食



運動



活動



学び



介護が必要になっても障害があっても自分らしく暮らせるまちに向けて

介護や障害などで、生活に困難を抱える皆さんを、関係機関が連携して支援する「多摩市版地域包括ケアシステム」の構築に向けて取り組んでいます。

これにより、年齢や障害の有無に関わらず、誰もが自分らしくいきいきと暮らし続けられるまちを目指します。

都営住宅の建替えとあわせた西永山福祉施設の開設

西永山中学校跡地（多摩市永山3-12-1）に建設中の都営住宅の1階に、高齢の方、障がいのある方が住み慣れた地域で生活できるよう、以下の機能を備えた西永山福祉施設を2019年秋に開設する予定です。

◆小規模多機能型居宅介護の施設

デイサービスを中心に、必要に応じてショートステイ・訪問介護を組み合わせ提供する施設

◆障害福祉サービス事業の施設

障がいのある方が日中に活動する生活介護、就労継続支援（B型）、放課後等デイサービスを行う施設

完成予想イメージ(第1期1階 西永山中学校跡地)



東京都都市整備局HPより

子ども・子育て世代に魅力あるまちに向けて～地域子育て支援拠点～

★パルテノン多摩のリニューアル時に親子が遊べる子ども広場などを整備

文化・芸術の拠点施設である「パルテノン多摩」の大規模改修にあわせて、子どもや親子のためのエリアを設置し、子どもたちの明るい声がひびくまちづくりを目指すとともに、まちの賑わい創出を図っていきます。



★子育てひろばを開設

親子の交流ができる子育てひろばや、専門の相談員（子育てマネージャー）に相談できる子育て支援拠点を地域に7か所、設けています。核家族化や地域のつながりの希薄化などによる、子育ての孤立化を防ぎ、育児不安を解消することで、子育てしやすいまちづくりに取り組みます。



子育て総合センター「子育てひろば」

8か所目

連光寺児童館に子育てひろばを
(多摩市連光寺3-57-1) 2019年4月下旬に開設

地域ごとに設置し、地域での子育て支援を充実します。

高齢者が住み慣れた地域で生活できるまちに向けて

地域包括支援センターは、高齢者の生活を支える総合相談窓口です。今後の高齢化の進行に対応するため、相談しやすい場所への移転を順次進めています。

これまで、中部、北部のセンターを、それぞれ永山団地名店街、関・一つむぎ館に移転してきました。

東部地域包括支援センターを
2019年度中に移転

地域の中で、より身近な立地にある諏訪複合教育施設（旧中諏訪小学校校舎。多摩市諏訪5-1）内に移転し、より相談しやすい環境を整えます。



センター名	所在地
西 西部地域包括支援センター	多摩市和田1-532
東 東部地域包括支援センター	多摩市連光寺1-1-1
多 多摩センター地域包括支援センター	多摩市山王下1-18-2
中 中部地域包括支援センター	多摩市永山4-2-5-105（永山団地名店街）
北 北部地域包括支援センター	多摩市関戸4-19-5 多摩市立健康センター3階（関・一つむぎ館）



誰もが気軽に集

コミュニティセンター・コミュニティ会館

コミュニティセンター・コミュニティ会館は、地域のコミュニティ活動の拠点として整備されてきました。

コミュニティセンターでは、地域の皆さんが企画・運営を担っており、地域のつながりや魅力的な地域づくりを進めています。

今後、コミュニティセンターは、順次、建築後30年を迎えることから、大規模改修を実施していく予定です。

これからの
取り組み

鶴牧・落合・南野コミュニティセンター（トムハウス）の大規模改修

これからの30年間を見据え、長く地域に親しまれるよう、将来にわたって多様なニーズに応えられる機能や使い方を、地域の皆さんと検討し、2020年以降に改修します。



公園



鶴牧西公園



宝野公園



多摩中央公園

2017年8月、
宝野公園球技場で
「平成29年度夏期巡回ラジオ
体操・みんなの体操会」が
開催されました。



公園は、誰もが気軽に訪れ、集うことの出来るは多くの公園があり、市民一人あたりの市立公園1位の広さを誇ります。

公園には、桜や紅葉など、四季折々の楽しみ一体的に整備されたエリアでは、ゆっくりとまち来ます。

えるスポット！



憩いの場です。市内に
園面積は、都内26市で
があります。遊歩道と
歩きを楽しむことが出

社会とのつながりは
健幸へのヒントだニャ！



多摩市職員
にやんとTAMA三郎
©多摩市



市民の皆さんと一緒に

実施中の 取り組み みどりの ボランティア活動

多摩市では、アダプト・愛護会・グリーンボランティア森木会の皆さんと協働して、公園での花壇活動や清掃活動、緑地の保全など、様々なみどりのボランティア活動を行っています。



これからの 取り組み

多摩東公園・スポーツ施設の 一体的なリニューアル

2019年～2020年にかけて、武道館、陸上競技場、庭球場を含めた多摩東公園の大規模改修工事を行い、さらに高齢者や障がい者、子ども連れの方にも利用しやすい施設に整備します。

また、指定管理者制度を導入し、民間の目線での魅力的で効率的な管理運営を目指していきます。



改修後イメージ図

市民ワークショップに参加して健幸まちづくり！

●多摩中央公園ワークショップ

パルテノン多摩や図書館本館の施設整備とあわせ、多摩中央公園でも、公園の老朽化や時代のニーズへの対応等を踏まえ改修工事を行います。このため、多摩中央公園の魅力や問題点、今後の使い方やすごし方などを、プレイスメイキング社会実験を行いながら話し合いました。



市民ワークショップに参加して 健幸まちづくり！

～ワークショップの取り組み紹介～

●旧北貝取小学校活用検討 市民ワークショップ

旧北貝取小学校は、市民活動の場、文化財の収蔵・見学・体験学習等の場となる予定です。

改修を契機に、人と人をつなぎ、文化財や市民活動等の財産を未来の世代につなげる施設とするために、知恵・アイデアを出し合いました。



みんなでこれからのまちづくりを一緒に考えようニャ！



●豊ヶ丘複合施設市民ミーティング・ 東寺方複合施設市民懇談会

図書館・老人福祉館・児童館・地区市民ホールなどがある豊ヶ丘複合施設と東寺方複合施設の今後について、歩いていける地域の施設として何が必要なのかを、地域の皆さんと一緒に話し合っています。



開催中！

市民の皆さんが興味のある活動、例えば、自治会などの地域での活動や趣味活動に参加することが健幸都市の実現につながります。

多摩市では、施設機能の具体的なニーズや内容について、市民同士で意見を出し合い、整理し、まとめていくワークショップを開催しています。皆さんのご意見をもとに、公共施設をより使いやすく、さらに「行ってみたい」と思える施設・まちにしていくことで「住んでいると健幸になれるまち」を皆さんと一緒につくっていきます！

● 「市民と共に描く永山駅周辺再構築ビジョン」のワークショップ



永山駅周辺ワークショップ提案図

永山駅周辺再構築に向け、市民の皆さんとともに永山駅周辺の再構築ビジョンを作成することを目的に、ワークショップを開催しました。

3班に分かれてワークを行い、2040年代の永山駅周辺をイメージしながらアイデアを出し合い、ビジョンを作成しました。

多摩市は、
永山駅周辺の将来像を
考えて取り組みを進め
ているんだね。



お知らせ 地域の核となる医療拠点の確保は、健幸まちづくりにとって重要です

多摩市の重要な医療拠点である日本医科大学多摩永山病院は建替えに向けた検討を進めています。

学校法人日本医科大学（日医大多摩永山病院）

- ・救急医療の拠点病院で市民の安全と安心を守っています。
- ・建物の老朽化が深刻で対策が急務です。

永山駅周辺の
用地を要望

土地交換に向けて
確認書締結
(2018年12月25日)

多摩市

- ・救急医療の拠点、地域医療の核である日医大多摩永山病院の存在は重要です。
- ・ニュータウン再生の重要な拠点である永山駅周辺の再構築を目指しています。

UR都市機構 (旧多摩ニュータウン事業本部用地)

- ・多摩市のまちづくりに協力する意向です。



旧東永山小学校跡地と、旧多摩ニュータウン事業本部用地の交換は、平成31年第1回市議会定例会（2019年3月）で財産の交換に関する議案が可決された後に契約を締結する予定です。※交換の実施は2021年度を予定しています。

健幸都市宣言をご存知ですか？

健康も幸せも、市民の皆さん一人ひとりが意識し、行動することによって獲得できるものです。

皆さん自身が主体的に行動していただくことが、健幸都市の実現の鍵になります。

多摩市では市民・議会・行政が一体となって、健幸都市実現に向けた市民の行動宣言として、「多摩市健幸都市宣言」を制定しました。



多摩市健幸都市宣言

多摩丘陵に広がる私たちのまちは、風わたる緑のまちです。

いつまでもこの地でいきいきと暮らし続けることが私たちの願いです。

多摩市で暮らす私たちが協力し、健やかで幸せいっぱいの健幸都市とすることを宣言します。

- 1 おいしく食べてエネルギーを燃やします。
- 2 わくわくする心を大切にします。
- 3 豊かな自然を感じてのびのび歩くことを楽しみます。
- 4 世代を超えて声をかけ合い人と人との絆を深めます。
- 5 自分を大切にしていってゆっくり心と体を休めます。



健幸マーク

たくさんの緑に囲まれ まちを歩けば しあわせに出会えるまち

(2017年3月30日制定)



Let's 健幸まちづくり！ みんなで健幸都市を目指しましょう！

健幸都市は市民の皆さん一人ひとりの健康と幸せから。

皆さんも「健幸宣言」をしてみませんか？

阿部市長の 健幸宣言！



健幸のため、私が毎日心がけていることをご紹介します。

- 第一に、通勤を含め毎日60分は歩いています。
- 第二に、市役所内ではエレベーターは使いません。
- 第三に、毎朝そして帰宅後、合わせて牛乳を400ccは飲んでいきます。
- 第四に、朝食に欠かさないのは、納豆と卵。
- 第五に、家での食事は、大事な大事な時間。
- 第六に、夫婦の会話は欠かさない。連続テレビ小説視聴も大事なひととき。
- 第七に、正月以外、家では1合以上の飲酒はしません。しかも、週に1日程度。
- 第八に、連日、新聞は4紙に目を通します。
- 第九に、睡眠時間を最低6時間は確保します。
- 第十に、常に感謝の気持ちを忘れず、一呼吸おくことを心がけています。

皆さんも、いつまでも自分らしく、いきいきと暮らすために、まずは何か始めてみませんか？

多摩市長 阿部 裕行